

令和6年度

学校評価だより

～最終自己評価～

珠洲市立緑丘中学校

令和6年度最終期の学校評価として、生徒・保護者・教職員アンケートをもとに自己評価を行いました。2学期末にとりましたアンケート結果や自己評価の結果（裏面）を含めて、今後の取組についてお知らせいたします。今後の取組を進めるにあたっては、ご家庭のご協力をお願いしなければならないものもございます。何卒、本校の教育活動をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

本年度重点項目

校訓 正義・勉学・友情

本校の教育目標

自ら課題を持ち 共に未来を創造し 切り拓いていく人間の育成

目指す生徒像

◇自ら学び、自ら課題を解決しようとする生徒(知育)

◇ルールやモラルを大切に誰とでも助け合える生徒(徳育)

◇心と体の健康を大切に自らを成長させようとする生徒(体育)



①主体的に学ぶ生徒の育成, 身に付けた学力を発揮する生徒の育成

②自己管理能力, 自分で自分をコントロールするための凡事徹底

③行事や集会等を活用した生徒会活動の充実

④家庭・地域・関係機関等の連携による生徒の健全育成の推進

①【主体的に学ぶ生徒の育成, 身に付けた学力を発揮する生徒の育成】

『学ぶ喜びや達成感が持てる「わかる授業」』、『生徒と共につくる課題づくり』、『能動的な学習の実践』、『計画的な校内研修』、『家庭学習の習慣化』、『一人一台端末の活用』を重点に取り組んでいます。

○「わかる授業」の取組の精度をより高めるために校内研修や研究通信等を継続的に発信し、肯定的な回答の値上昇に繋げることができました。

○生徒のICTの使い方に関わるルールの改定や校内研修をはじめ授業研究、授業実践の成果発表等でICTに関わる話題を多く取り上げたことで、教職員の意識向上とICTの有用性の再認識に繋がりました。

○中間評価結果から、生徒の肯定的な回答結果と実際の生徒の提出率にみられた差異を縮め、生徒が着実に学習を進めることができるように意識付けを行うことができました。

△家庭学習は、引き続き課題となっている。家庭学習強化週間においては目標が達成できるものの、平時での家庭における学習習慣の定着が不十分であると考えられます。

《改善策》

◇生徒の課題提出状況の共有方法を改善し、よりよい家庭学習の実践につなげていきます。そして、生徒が着実に家庭学習においても力が定着していけるよう取り組んでいきます。

③【行事や集会等を活用した生徒会活動の充実】

『話し合い活動の充実（討議と決定）』、『振り返り活動の充実（自己評価）』の計画的な設定による自主性や自治能力の育成を重点に取り組んでいます。

○中間評価に引き続き、すべての項目において肯定的評価が高くなっています。後期生徒会においても、執行部が中心となり、主体的に行ってきています。生徒アンケートでは、委員会活動の話し合いに積極的に参加することや行事がよりよい活動になるように積極的に取り組んでいるか聞く項目についても引き続き、高い評価となっています。

△生徒集会等で発表する際に、準備してきた原稿を読むことに終始してしまっている姿が見受けられます。

《改善策》

◇次年度も積極的に行事に関わっていく生徒の姿勢を大切にしながら、集会の場など生徒が人前で考えを話す際は、話す相手を見て、自分の言葉で話すことを前提として、「こんなことがしたい」「これについて議論したい」という想いや考えを伝えられる力を育てていきたいと思ひます。

②【自己管理能力, 自分で自分をコントロールするための凡事徹底】

『時間を守る』、『掃除』、『あいさつ』の徹底を重点に取り組んでいます。

○学習計画の作成や学習時間の見える化により、家庭学習週間においては学習に向かう姿勢が定着してきています。

○数値から始業の1分前着席や黙動清掃にきちんと取り組むことができていることがわかります。

△アンケート数値としては、中間評価とあまり変化がないですが、1学期に比べると積極的にあいさつをしている生徒はやや少なくなっているように感じられます。

△家庭学習週間以外の日において、自立的に家庭で学習に取り組めない生徒が3割いることがわかりました。

《改善策》

◇あいさつで意識したいこと（相手の目を見る、自分から、爽やかに等）について生徒と教師が共有するとともに委員会中心に生徒間で啓発活動を行っていきます。

◇家庭学習強化週間で計画通りに学習を始めることができたか自己チェックさせる。計画通りできたかどうかパーセンテージで掲示します。また、テスト週間以外においても家庭学習の必要性を呼び掛けていきます。

④【家庭・地域・関係機関との連携による生徒の健全育成の推進】

『校区小学校との連携強化と小中連絡協議会の充実』、『地域づくりを題材とした「SuZuSoZo」の充実』を重点に取り組んでいます。

○小中連携のテーマ「子どもが主役になれる授業づくり」について、校内研究と連携し日々の授業実践につなげることができている。

○全体的には肯定的な意見が多く、前年度より大きく改善されてきている。前年度との比較ではあるがアンケート数値から学校の様子がうまく発信されているととらえることができます。

△今年度に限ると前期と大きな差異はないが保護者アンケートは微減している。

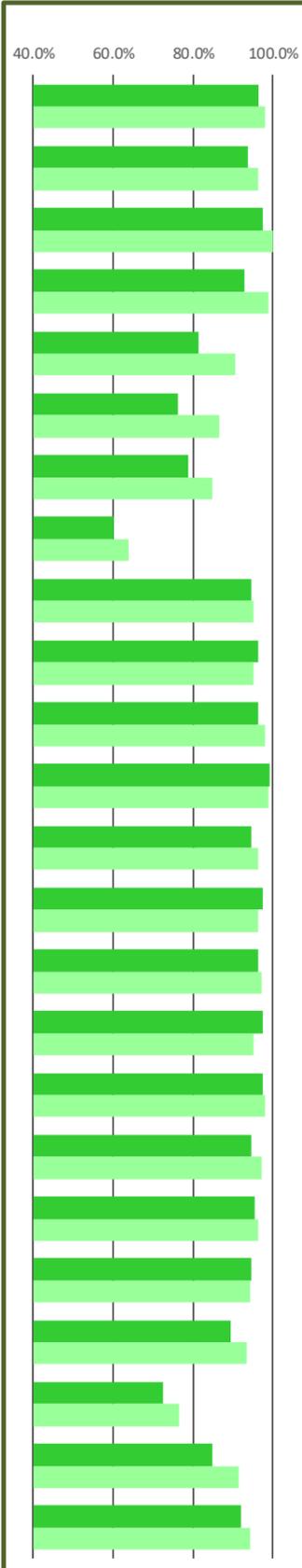
《改善策》

◇「中学校の学びが小学校の学びの土台になっていること」や「学校の活動がすべて互いに関連していること」等について若手研修等を通して、授業力向上も含めて確認したいと思ひます。

◇おたよりに関しては、定期的な発行や、保護者全員に届く工夫など、より細かな保護者への情報発信が求められると考えています。

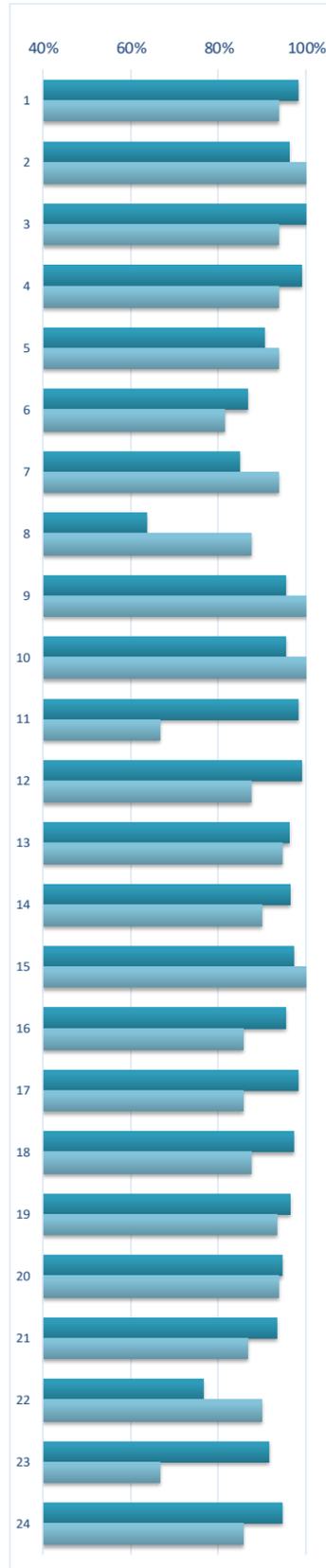
生徒アンケート結果

- 1 ① 授業の内容はわかりますか。
- 2 授業では、自分の考えや意見を持つことができますか。
- 3 授業では、先生や友だちの話を最後までしっかり聞くことができましたか。
- 4 授業では、自分の考えや意見を話したり書いたりすることができますか。
- 5 毎時間の授業を振り返ったり、単元全体の目標や見通しを持ったりできていますか。
- 6 ① 月間課題の一覧表を見て、自分で計画を立てて家での学習に取り組むことができましたか。
- 7 ① 家で、宿題をしていますか。
- 8 ① 宿題以外の学習に取り組んでいますか。
- 9 学校は楽しいですか。
- 10 ② 授業開始1分前には、座席に座ることができますか。
- 11 ② 相手意識を持って、授業のはじめとおわりあいさつや返事をしていますか。
- 12 移動教室のとき、自分の机の整理をしたり、イスを入れたりしていますか。
- 13 ② 黙読清掃活動に、15分間積極的に取り組んでいますか。
- 14 しゃべらず、落ち着いて朝学習や朝読書をしていますか。
- 15 ③ 積極的に話し合いに参加したり、しっかり聞く姿勢をもって委員会活動(生徒会活動)に参加したりしていますか。
- 16 ③ 行事などがよりよい活動になるように、積極的に取り組んでいますか。
- 17 ④ 総合的な学習の時間で、地域の自然や人から学べたことがあったと思いますか。
- 18 こまっている友だちがいたら、声をかけたり助けたりするなど「思いやりの心」を持って行動していますか。
- 19 先生は、がんばったことに対してほめたり、認めたりしてくれていると思いますか。
- 20 給食では、好き嫌いをしないで残さず食べていますか。
- 21 決まった時刻に起床できていますか。
- 22 ② 決めた時刻に家庭学習を始めていますか。
- 23 決まった時刻に就寝できていますか。
- 24 登下校のときや休みの日など、家庭、地域の人たちにあいさつをしていますか。



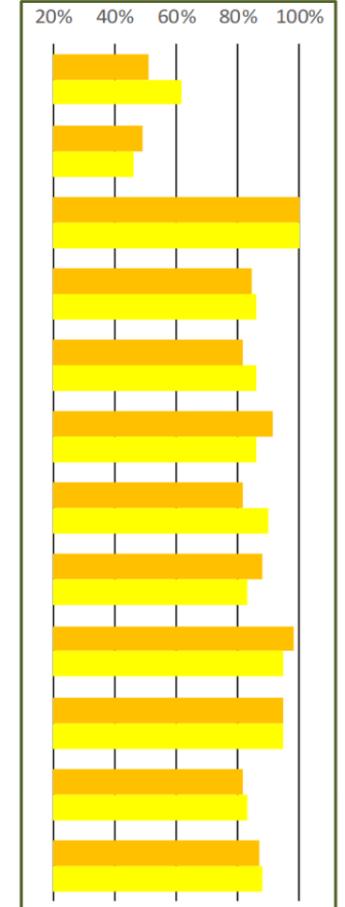
教職員アンケート結果

- 1-1 ① 緑丘授業スタイルを利用し、「わかる授業」の実践を意識して取り組んでいる。
- 1-2 ① 生徒の興味がわくような「課題づくり」を行っている。
- 1-3 ① ペアやグループによる対話活動を効果的に授業に取り入れている。
- 1-4 ① 「分かる授業」のために、校内研修を授業改善に役立てている。
- 1-5 ① 自主的な学習や、学習の習慣化のために、宿題の提出計画を示している。
- 1-6 ① 家庭学習習慣の確立を目指し、家庭学習強化週間・ノーメディアデー等の取組を、家庭と連携している。
- 1-7 ① 学びのツールとして、一人一台端末を活用している。
- 1-8 「見直し一振り返り」を意識した授業実践に取り組んでいる。
- 1-9 生徒が、教科の見方・考え方を働かせるための発問の工夫をしている。
- 1-10 授業規律は確立している。
- 1-11 読書の啓発活動はなされている。
- 2-1 ② 「授業開始3分前」を意識して教室に入り、生徒に1分前着席を指導している。
- 2-2 ② 15分間の黙読清掃にしっかり取り組むよう指導している。
- 2-3 ② 相手に伝わるあいさつや礼儀正しい受け答えができるように指導している。
- 2-4 生徒の望ましい人間関係づくりに取り組んでいる。
- 3-1 ③ 生徒主導による行事や集会等の開催を企画・運営している。
- 3-2 ③ 企画・準備の段階で、打合せを念入りに行い、生徒が主体的に取り組めるよう支援している。
- 3-3 ③ 行事や集会等の振り返りを行い、次回の活動に生かすように指導している。
- 3-4 ③ 体験活動の充実やふるさと学習の推進に取り組んでいる。
- 3-5 ③ 総合的な学習の時間の年間計画に基づき、「SuZuSoZo」(ふるさと教育)の推進に取り組んでいる。
- 3-6 ③④ 勤務時間を意識し、自身の指導力の向上や心身の健康に努めている。
- 4-1 ④ 学校便りの発行やホームページの更新を行い、教育活動の様子を家庭・地域等に知らせている。
- 4-2 ④ 小中連携の取り組みで得た情報をもとに、小中間の段差を少なくし、スムーズな移行に役立てている。
- 4-3 ④ 「総合的な学習の時間」の高校との協働に向け、年間計画に基づき、地域資源を生かした実践に取り組んでいる。



保護者アンケート結果

- 1 ① お子さんは日々の学習に取り組んでいますか
- 2 ② お子さんは、ゲームやネット、SNSの決まり(9時以降はしない)を守っていますか。
- 3 ご家庭には、ゲームやネット、SNSに関するルールがありますか。
- 4 ② お子さんは、あいさつをしていると思いますか
- 5 お子さんは、学校に行くのを楽しみにしていますか
- 6 ① 本校の教職員は、子どもたちの気持ちや内面をよく理解しようとしていますか
- 7 ① 本校の教職員は、一人ひとりの個性や能力に応じた指導をしていると思いますか
- 8 ① 本校は、いじめ・不登校の未然防止に向けて、取り組んでいると思いますか
- 9 ③ 部活動は、休養日を確保し、計画的に行われていると思いますか
- 10 ④ 本校は保護者や地域の声を受け止め、丁寧に対応していると思いますか
- 11 ④ 勉強や部活動、友達のことなど、お子さんとよく学校の話をしていますか
- 12 ④ 学校だよりや学年通信、ホームページなどで学校の活動の様子などをお知らせしていますがご覧になっていますか



学校関係者評価委員からいただいた感想や助言

- 校内研修の充実した取り組みが参考になりました。「チョコ研」により先生方の強みが発揮され、組織の活性化が図られているのだと感じました。
- 生徒に学力を身に付けさせるために研究主任が中心となって校内研修を熱心に進めていることが伝わってきました。
- みどりタイムのような小さな実践の積み重ねが大切だと思います。学級の雰囲気づくりに寄与しています。相手の意見を否定しないという最初の一步がきちんと保障された実践です。
- 生徒はみどりタイムをととても楽しみにしているようです。どんな質問をしようかなと考えたり、友達に自分のことを知ってもらったりすることがなかなかないので、貴重な機会だと感じているみたいです。中学校ではすべてのクラスの友達と話せるわけではないのでこのような場も必要だと感じました。
- 学校生活の基盤である学級づくりの推進を意図的に行っている点が良かったです。この基盤があってこそ自治的な生徒会活動等ができると感じます。
- 生徒が主体となる行事にすることは簡単なようで難しいと思います。中学生だから任せられることもあれば、やはり教員が・・・となることもあると思いますが、どうしたら全ての生徒が主体になるか今後も取り組みを続けていただきたいです。
- 小中共通で重点目標を設定したことで、取り組みや情報の共有がしやすかったです。毎年目標を変えるのではなく、同じ目標で経験していくことがより効果的なのではないかと思いました。
- 地震の経験を前向きに捉えて、生きる力につながるような実践を今後展開して欲しいです。

・項目番号下の○で囲んだ数字は、本年度の重点項目の番号。項目のゴシック文字は、重点項目の指標として活用したアンケート。

・朱書きの項目は、指導・改善を要する内容と捉え、速やかに改善策を考え対応していきます。